

- 産学連携による人材育成 -

## 第5回 半導体技術者育成推進フォーラム

共催：大阪大学大学院工学研究科附属高度人材育成センター  
(社)日本半導体ベンチャー協会 関西JASVA

### 【開催主旨】

情報通信技術社会を支え、高度の電子機器・産業機器を実現しているのは、半導体技術の発展によるものです。日本の半導体産業は、1980年代は世界を牽引してきましたが、近年その地位を大きく後退させております。少子化に加え、若者の理科系離れが進み、IT企業においてはすぐれた人材の確保が困難になっております。

とくに近年、円高対策で製造業の空洞化が進み、さらに技術開発機能まで海外移転が進んでおります。このようなときこそ人材育成の重要性を再認識し、人材育成に真剣に取り組み、技術者の力量を高め、協力して難局打開の方向を見出す必要があります。ここに、大阪大学大学院工学研究科とJASVAの共催による第5回フォーラムを企画しました。

本年は、(株)半導体理工学研究センター(STARC)土屋主税氏、奈良高等専門学校校長谷口研二先生、およびNPO法人学習開発研究所代表西之園晴夫氏にご講演いただく予定です。

技術者教育は関係者すべての方々共通の課題です。関係各位におかれましては、人材育成について共に認識を深め、共に今後の発展への方向を見出していただけますよう、本フォーラムにご参加いただきますようお願いいたします。

【日時】平成24年1月25日(水) 13時30分～19時00分

【場所】大阪大学中之島センター 4階 多目的スペース3  
大阪市北区中之島4-3-53(TEL:06-6444-2100)

案内図: [http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/img/map\\_j.pdf](http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/img/map_j.pdf)

【定員】60名 フォーラム参加費:無料 交流会参加費:3000円

\*交流会参加費は当日お支払い願います。当日領収書をご用意いたします。

### 【申し込み先】

大阪大学大学院工学研究科附属高度人材育成センター 河崎達夫宛

〒565-0871 吹田市山田丘2-1

E-Mail: [kawasaki@cpdc.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:kawasaki@cpdc.eng.osaka-u.ac.jp) FAX/TEL:06-6879-4127

関西JASVA事務局 東出素子宛

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2-6-4 M&T 淀屋橋ビル6F(システムLSIセンター内)

E-Mail: [kansai-jasva@jasva.org](mailto:kansai-jasva@jasva.org) FAX: 06-6222-4417 TEL:06-6222-4416

## プログラム

### 第1部 フォーラム (13:30 ~ 17:30)

1. 開会挨拶 13:30 ~ 13:40	神戸 宣明 氏 大阪大学大学院工学研究科附属高度人材育成センター長・教授
2. 来賓ご挨拶 13:40 ~ 13:50	内海 美保 氏 近畿経済産業局 産業人材政策課 課長
3. 講演 14:00 ~ 15:00	土屋 主税 氏 (株)半導体理工学研究センター 研究推進部長 「STARCにおけるSoC設計者向け教育」 1970年代からの半導体集積回路(IC)の高集積(LSI)化も、1990年代の後半からはシステムまでカバーする規模に達してきました。それに対応するため設計手法もより抽象度の高い方法に変革の必要がありました。それらの背景を受け、STARCは2001年から大学及び企業向けにシステムLSI(SoC)設計者向けの教材開発と講義・実習等の教育および支援を行ってきました。今までの活動内容と今後の取り組みについて関係各位のご参考になればと考え、ご紹介させていただきます。
休憩	
15:15 ~ 16:15	谷口 研二 氏 奈良工業高等専門学校 校長 (大阪大学名誉教授) 「高専における技術者教育」 内容概要 わが国の高度成長期に実践教育を目指して創設された高等専門学校制度ができてから50年になる。 同世代の学生の1%が進学する全国の57高専の歴史、高専の実践教育の内容、ロボコンなどの競争的技術者教育、大学の工学教育との違い、社会人教育などについて紹介する。
16:20 ~ 17:20	西之園 晴夫 氏 NPO法人学習開発研究所代表 「中小企業技術者と共に創るレッツラーン大学 in 京都南部の構想について」 高等教育モデルにはアメリカ型とヨーロッパ型とがある。アメリカ型は授業料が高額であるが奨学金や補助金で賄っているのに対して、ヨーロッパ型は雇用や労働契約と関連付けながら学習を労働の一部とみなして制度、方法、技術を開発しており、方法は協働学習を採用してICTを活用している。現在開発している京都府委託事業としての「レッツラーン大学 in 京都南部」での分散同期型協働学習方式による中小企業の技術者教育の具体的な方法について紹介する。
4. 閉会の挨拶	河崎 達夫 氏 大阪大学大学院工学研究科高度人材育成センター 招聘教授 / 関西JASVA 代表

### 第2部 交流会 (17:40 - 19:00)

参加費:3,000円(当日受領いたします)

会場:大阪大学中之島センター 9F